

平成27年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業について

1. 事業の趣旨

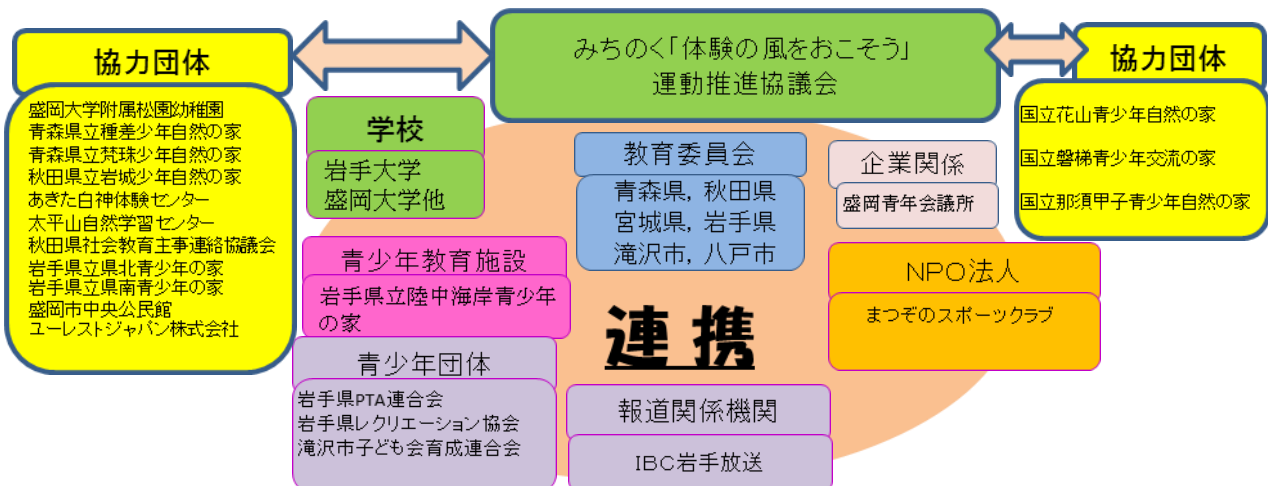
近年、社会が豊かで便利になる中で、子供たちの自然体験、社会体験、生活体験などの体験が減少している。このため、東北地区において子供たちに自然体験や生活体験などの体験活動を提供するとともに、関係機関と連携を図りながら体験活動を推進する機運を高める取組などを実施し、「体験の風をおこそう」運動を普及、推進することを目的としている。

当交流の家では、外部有識者で組織する「みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会」を組織し、独立行政法人国立青少年教育振興機構から本事業を受託し実施した。

2. 受託期間

平成27年5月10日～平成28年3月31日

3. 実施体制



4. 事業概要

1 「体験の風をおこそう」運動を普及・啓発する取組

(1) 岩手県、青森県、秋田県、宮城県の公民館等に「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼し、要望に応じ「子どもゆめ基金」の説明会を開催した。

(各県の社会教育主事会議等で説明を行い、幟旗を配布し設置を依頼した。)

① 青森県公民館訪問 10月22日(木)～23日(金)

平川市平賀公民館、弘前市立中央公民館、五所川原市中央公民館、青森市中央市民センター、三沢市中央公民館(三沢市公会堂)、八戸市公民館、南部町 町立中央公民館、三戸町中央公民館

② 秋田県公民館訪問 10月27日(火)～28日(水)

横手中央公民館、美郷町公民館(南ふれあい館)、大曲中央公民館、湯沢市立湯沢公民館、にかほ市仁賀保公民館、由利本荘市中央公民館、秋田市中央公民館、角館公民館、田沢湖公

民館

③ 岩手県公民館訪問 11月26日(木)～27日(金)

遠野市民センター, 陸前高田高等学校, 大船渡市中央公民館, 大槌町中央公民館, 宮古市中央公民館, 久慈市中央公民館, 一戸町中央公民館

④ 宮城県公民館訪問 2月15日(月)～16日(火)

気仙沼中央公民館, 気仙沼観光コンベンション協会, 南三陸町役場入谷公民館, 石巻中央公民館, 東松島市大曲コミュニティセンター, 松島自然の家, 栗原市築館・志波姫教育センター, 志波姫小学校

(2) 「体験の風をおこそう」運動推進委員会構成団体の地方組織等の事業に次の事項を依頼した。

- ① 『「体験の風をおこそう」運動協賛事業』の冠を付すこと。
- ② 事業チラシに「体験の風をおこそう」運動のロゴ等を印刷すること。

2 保護者や指導者が子供たちの体験活動の重要性について理解を促進する取組

(1) 本運動を推進する事業への本協議会委員等を派遣し, 体験活動の重要性について説明をした。

- ① 岩手県青少年健全育成県民会議「第1回青少年育成セミナー」7月1日(水)
- ② 盛岡市学童保育連絡協議会「盛岡市学童保育連絡協議会指導員部会」9月25日(金)
- ③ 盛岡市PTA連合会9月30日(水)
- ④ 奥州市教育振興運動10月24日(土)
- ⑤ 盛岡市玉山区社会福祉協議会「玉山区児童館職員研修会」11月13日(金)
- ⑥ 一関市教育振興運動12月12日(土)

(2) 公民館, 公立青少年教育施設等の事業に参加し, 体験活動の重要性について説明した。

- ① 青森県立種差少年自然の家「おいでよ! サマーキャンプ」7月28日(火)～29日(水)
- ② あきた白神体験センター「あきた白神わんぱく夏塾2」8月19日～21日(金)
- ③ 秋田市太平山自然学習センター「まんたらめちびっこキャンプ」
10月10日(土)～11日(日)
- ④ 秋田県立岩城自然の家「オープンデー」11月14日(土)
- ⑤ 岩手県立県北青少年の家「親子deチャレンジ」11月14日(土)～15日(日)
- ⑥ 盛岡市中央公民館「わくわく盛岡チャレンジクラブ」12月12日(土)
- ⑦ 青森県立梵珠少年自然の家「アウトドアライフ2016inウインター」1月16日(土)～
17日(日)

Ⅲ 子供たちに多様な「体験活動」を提供する取組

(1) 「体験の風」出前創作活動教室 in IBC祭り

期日: 平成27年9月12日(土)・13日(日)

会場: 岩手産業文化センター「アピオ」

対象: IBC祭りに来場した親子, 子供達

来訪人数: 約28,000名

(2) 頭と体と心の3（未）体験フェスティバル

期日：平成27年7月12日（日）

会場：岩手大学盛岡市産学官研究センター

対象：小学生・親子

来訪人数：約1,250名

(3) 親子で楽しむ自然体験 in 冬のテンパーク

期日：平成28年2月20日（土）・21日（日） 1泊2日

対象：岩手県内在住の親子

参加者：29家族92名の親子（盛岡市，滝沢市，八幡平市，釜石市，一関市，花巻市，雫石町）とボランティア11名

IV 「体験の風をおこそう」運動推進月間における「事業エントリー」と「子ども体験遊びリンピック」の実施依頼

(1) 公民館や児童館，公立青少年施設，地域の子ども会や放課後児童クラブに働きかけた。

(2) 児童養護施設に「子ども体験遊びリンピック」の実施を働きかけた。

平成27年度エントリー数（北東北3県）「体験の風をおこそう推進月間事業」194件，「子ども体験遊びリンピック」20件。

V その他，「体験の風をおこそう」運動を推進するための取組

(1) 本運動のロゴマーク，岩手山青少年交流の家の独自のうちわと鉛筆を作成し，教育事業参加者や本運動推進のため訪問した公民館へ配布した。「早寝早起き朝ごはん」国民運動に関する普及・啓発事業については，教育事業「テンちゃん一家の一週間」で参加児童に徹底したほか，事業参加者や研修支援団体に普及した。

(2) 東北地方の国立青少年教育施設4か所が連携し，施設開放事業や地方自治体へのさらなる普及を図る。

① 国立岩手山青少年交流の家「テンパークまつり2015」9月27日（日）

② 国立那須甲子青少年自然の家「なすかしの森ファミリーフェスティバル」10月4日（日）

③ 国立磐梯青少年交流の家「体験の風をおこそう in 磐梯」10月18日（日）

④ 国立花山青少年自然の家「はなやままるごとフェスティバル」11月1日（日）

5. 事業の成果

1 岩手県，青森県，秋田県，宮城県の主要公民館等を直接訪問し，「体験の風をおこそう」運動の趣旨を説明するとともに幟旗の設置を依頼したことにより，北東北4県の「体験の風をおこそう」運動に対するより一層の理解を深めることができた。

2 親子で楽しむ宿泊・自然体験 in テンパークを2月20日（土）～21日（日）の1泊2日で行ったことにより，岩手県内在住の親子（盛岡市，滝沢市，八幡平市，釜石市，一関市，花巻市，雫

石町) 29 家族 92 名の親子に冬の岩手山青少年交流の家の体験を提供することができた。県内の沿岸の親子と当施設周辺の親子が体験をとおして交流を深め思い出多い2日間となった。

- 3 岩手県青少年健全育成県民会議等の本運動を推進する団体やその団体が行う事業に出向き、保護者や指導者に子供たちの体験活動の重要性について説明を行ったことにより、団体の下部組織まで「体験の風をおこそう」運動を推進することができた。
- 4 公民館や公立青少年教育施設等における事業に連携して参加することにより、事業参加者やその地域に「体験の風をおこそう」運動のさらなる普及につながった。

6. 今後の展開

1 普及・啓発の強化

これまで、青森県、岩手県、宮城県、秋田県の全市町村の教育委員会及び主要公民館への普及・啓発活動を行ってきた。今後は、各地域の住民への情報発信の基地である市民センター・公民館等への普及・啓発を行い、北東北地域での更なる普及・啓発を推進する。

2 連携協力の拡大による多様な体験の場の提供

各地域の企業・団体等との交流を増やしていく。各地コンベンション協会、NPO法人、商工会、青年会議所等とのネットワークを生かすと共に、公立青少年教育施設、高等教育機関、児童養護施設等とも連携を図り、「体験の風をおこそう」運動の社会での認知度を高める多様な体験の場を提供していく。

みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会委員一覧

平成28年1月27日現在

氏名	よみがな	役職名等
浅沼道成	あさぬま みちなり	岩手大学 人文社会科学部 教授
石川正悦	いしかわ しょうえつ	岩手県立盛岡農業高等学校 校長
伊藤博章	いとう ひろあき	八戸市教育委員会 教育長
大石泰夫	おおいし やすお	盛岡大学 文学部 教授
菊池啓子	きくち けいこ	岩手県立陸中海岸青少年の家 所長
熊谷雅英	くまがい まさひで	滝沢市教育委員会 教育長
國分隆史	こくぶ たかし	岩手県PTA連合会 副会長
児玉政光	こだま まさみつ	青森県教育庁 生涯学習課長
沢屋隆世	さわや たかせ	秋田県教育庁 生涯学習課長
主濱恵悦	しゅはま けいえつ	滝沢市子ども会育成連合会 会長
白木貞彦	しらき さだひこ	滝沢市立一本木小学校 校長
神初見	じん はつみ	(株)IBC岩手放送 取締役放送本部長
菅原正弘	すがわら まさひろ	盛岡市立河南中学校 校長
高橋一仁	たかはし かずひと	盛岡市青年会議所 理事長
松下洋介	まつした ようすけ	岩手県教育委員会 生涯学習文化課 総括課長
三浦正之	みうら まさゆき	宮城県教育庁 参事兼生涯学習課長
横澤繁	よこさわ しげる	岩手県レクリエーション協会 理事長